

奥州市日帰り温泉施設「前沢温泉保養交流館」の民間活用に向けて、サウンディング型市場調査を実施したので、その結果を公表します。

1 調査の目的

日帰り温泉施設「前沢温泉保養交流館」は、平成 10 年 4 月に市民の健康の維持増進及び観光の振興を図ることを目的として整備されました。その後、直営による管理運営から指定管理者制度の導入へと移行した今日でも、市民を中心に年間約 9 万人に利用される施設となっております。

そのような中、奥州市の第 2 次行政改革プランにおいては、前沢温泉保養交流館は市場性の高い事業に係る施設であり、民間のノウハウを活用し、より効果的な運営を行うとして「奥州市日帰り温泉の民間移譲に向けた基本方針」を制定し、当該施設の民間移譲を進めております。

そこで、経営能力に長けた民間事業者との対話を通して、日帰り温泉施設「前沢温泉保養交流館」の民間移譲を目指すことを第一義的目的とし、指定管理者制度の活用も含めるなど幅広く意見・提案を求めるため、サウンディング型市場調査を実施しました。

2 スケジュール

実施方針の公表	令和 8 年 7 月 30 日（木）
現地見学会・説明会の参加申込期限	令和 8 年 8 月 6 日（木）
現地見学会・説明会の開催	令和 8 年 8 月 7 日（金）
サウンディング参加申込期限	令和 8 年 8 月 21 日（金）
サウンディングの実施	令和 8 年 8 月 26 日（水）及び 8 月 27 日（木）
実施結果概要の公表	令和 8 年 10 月中旬

3 サウンディングの参加者

4 事業者

4 サウンディング結果の概要

「サウンディング調書・提案書」に沿って実施

対話の対象項目	対話概要
ア 運営の考え方 （施設のコンセプト、誘客プログラム、施設の設備方針等）に関する提案	・周辺宿泊施設との連携による相乗効果を取り巻くような取組 ・近隣観光施設からの広域回遊拠点を目指した取組 ・施設改修を進め段階的に女性層や観光客を呼び込む取組 ・施設設備の最適化による光熱水費削減の取組
イ 譲渡を検討する条件（スケジュール感等）	・初めから譲渡されるのではなく、指定管理期間を設けていただくとありがたい。 ・複数年は、指定管理者として施設運営をしたい。その後、譲渡を受ける流れの方がスムーズに進める。 ・指定管理期間は短期間で良いが、削減した経費を工事費に充てて集中的に行ってほしい。
ウ 地域貢献に対する考え方、提案等 （例：地元雇用の創出、地域イベントとの連携、市民割引の設定など）	・地元食材の調達や地元事業者との連携を強化していきたい。 ・地域の活動拠点としての役割を担っていきたい。
エ 行政に求める支援や配慮してほしい考え方、提案等	・主要配管など根幹のインフラの修繕は、市が負担してほしい。 ・自家水道ポンプや源泉ポンプは、市の責任での改修してほしい。
オ その他自由提案、意見	・トイレの洋式化やバリアフリー化が必要である。 ・料金支払い等の決済システム導入が必要である。 ・現入浴料（800 円/回）は、日常利用には高いと感じている。

サウンディング調査の実施により、各事業者の皆様の貴重なご意見・ご提案をいただくことができました。

今回のサウンディング調査の結果を踏まえ、日帰り温泉施設「前沢温泉保養交流館」の民間活用について、具体的な検討を進めて参ります。